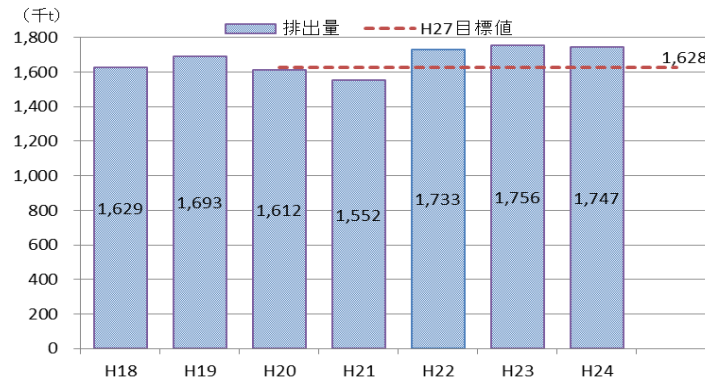


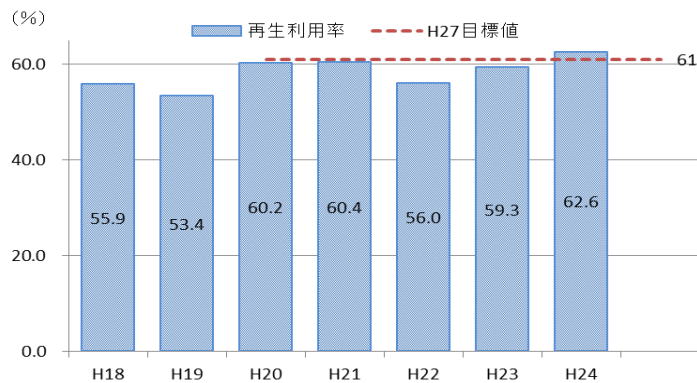
## (2) 産業廃棄物

### ①排出量の現状



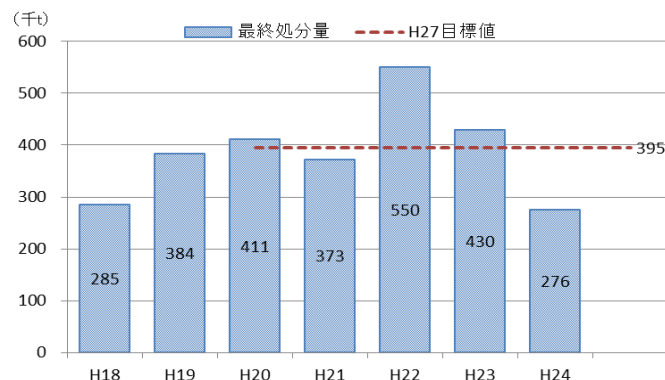
- 産業廃棄物の排出量は、景気の動向などに大きく左右される傾向をもつが、島根県では不況下にもかかわらず、目立った減少は見られず、変動を繰り返しながら推移している。その原因としては、島根県の排出物の特徴が、全体排出量の約7割をがれき類、汚泥、ばいじんの3種が占めていることにある。このため、産業廃棄物排出量の増減は、土木工事や火力発電所の排出量に大きく影響される傾向にある。

### ②再生利用率の現状



- 再生利用率は、ばいじんがセメント資材などの需要増により再資源化が進んだことなどから平成23年度以降増加傾向にある。

### ③最終処分量の現状



- 最終処分量は、平成22年度をピークに減少しており、その原因としては、ばいじんがセメント資材などの需要増により再資源化が進んだことなどによると考えられる。

### ④まとめ

- 変動要素の大きい火力発電所を除いた最終処分量は、減少傾向にあるが、それも近年下げ止まりがみられる。
- 目標を達成するには、排出量の削減に関する取組を推進し、排出量が多く再資源化率の低い、ばいじんや汚泥などの再資源化を進め、その需要の掘り起こしに積極的に取り組むことが必要である。